

鳥取縣公報

本書ノ大キサハ國定規格A5判

昭和十九年七月四日
第千五百四十一號

火曜日

告示

◇鳥取縣告示第三百六十一號

使 用 者 所 在 地

日本蠶絲製造株式會社 倉吉工場	東伯郡倉吉町大字福吉町 五十七番屋敷
同 社 米子工場	米子市旗ヶ崎五七八番地
旭製紙株式會社	鳥取市古市一八五番地

右使用者ガ其ノ所在地ニ於テ使用ニ係ル度量衡器計量器ハ昭和二十年三月三十一日迄其ノ第一種取締並市長及町長ノ行フ第二種取締ノ執行ヲ省略ス

昭和十九年七月四日

鳥取縣知事 武 島 一 義

◇鳥取縣告示第三百六十二號

度量衡法施行令第十四條ニ依リ東伯郡倉吉町度量衡器計量

目次

○告 示

- 度量衡器計量器第一種取締
並市町村長ノ行フ第二種取締執行省略……………一頁
- 度量衡器計量器第一種取締執行……………一頁
- 林業勞務報國團要綱制定……………二頁
- 昭和十九年度鳥取縣歲入歲出追加豫算要項……………三頁
- 長丸太生産臨時措置要綱制定……………五頁
- 鳥取縣陸上小運搬業統制組合法規程制定……………六頁
- 鳥取縣種茅ノ集荷配給要綱制定……………七頁
- 馬鈴薯出荷販賣統制……………七頁

○告 諭

鳥取縣公報 每週曜日發行 (休日ニ當ル)
火金曜日 (時ハ翌日)

昭和十九年七月四日
第千五百四十一號

(昭和四年四月十五日)
第三種郵便物認可

器第一種取締左ノ通執行ス 但シ日別検査區域及器物提出場所ハ倉吉町長ノ告示ニ依ル

昭和十九年七月四日

鳥取縣知事 武 島 一 義

検査執行期日	時刻	執行區域
自昭和十九年七月十日 至昭和十九年七月十三日	自午前九時 至午后四時	東伯郡倉吉町

◇鳥取縣告示第三百六十三號

林業勞務報國團要綱左ノ通定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十九年七月四日

鳥取縣知事 武 島 一 義

林業勞務報國團要綱

一 林業勞務並資材ヲ確保シ之カ需給ノ調整ヲ圖ル爲民有林ノ勞務(伐木、造材、運材、造林撫育其ノ他)ニ從事シ又ハ從事セムトスル者ハ市町村又ハ森林組合毎ニ林業勞務報國團(以下單ニ報國團ト稱ス)ヲ組織スルモノトス 但シ前記ノ地域ニ依ルヲ不適當トスル場ニ於テハ

二以上ノ市町村又ハ森林組合ヲ合シタル地域ヲ以テ之ヲ組織スルコトヲ得

二 報國團ヲ組織セムトスルトキハ豫メ地區ヲ定メ其ノ地區内ノ林業勞務者二十名以上ノ同意ヲ得テ創立總督ヲ開キ規約ヲ定メ知事ノ承認ヲ受クルモノトス

三 報國團ノ團長ハ市町村長ヲ以テ之ニ充テ副團長ハ林業關係者又ハ團員タル勞務者中ヨリ之ヲ選任スルモノトス但シ特別ノ事情ニ依リ知事ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

四 報國團成立シタルトキハ其ノ區域内ニ於テ團員タル資格ヲ有スル者ハ總テ本團ニ加入スル義務アルモノトス

五 報國團ハ團相互ノ連絡調整ヲ圖リ其ノ目的ヲ達成スル爲郡ヲ區域トシ林業勞務報國團聯合會(以下單ニ聯合會ト稱ス)ヲ組織スルモノトス

聯合會ヲ組織セムトスルトキハ創立總會ヲ開キ規約ヲ定メ知事ノ承認ヲ受クルモノトス

六 聯合會ノ會長ハ地方事務所長、副會長ハ地方事務局長ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

七 報國團及聯合會ハ受託ニ依リ事業ヲ行ヒ營業事業ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

八 知事必要アリト認ムルトキハ報國團及聯合會ニ對シ業務ニ關スル報告ヲナサシメ業務ノ執行ニ付指示スルコトアルモノトス

九 報國團ニ加入セサル勞務者ニ對シテハ木材生産報國手帳ヲ交付セサルコトアルモノトス

一〇 報國團及聯合會ノ規約ノ變更方ニ付テハ各其ノ規約ノ規定ニ從ヒ之ヲ定メ知事ノ承認ヲ受クルモノトス

一一 本要綱ハ鳥取縣勤勞動員本部要綱ノ施行ヲ妨ゲザルモノトス

◇鳥取縣告示第三百六十四號

昭和十九年六月二十六日縣參事會ニ於テ議決ニ係ル昭和十九年度鳥取縣歲入歳出追加豫算ノ要領左ノ通

昭和十九年七月四日

鳥取縣知事 武 島 一 義

昭和十九年度鳥取縣歲入歳出追加豫算

歲 入

經 常 部

第四款 地方分與稅

第二項 配付稅

第八款 國庫下渡金

第一項 警察費下渡金

第二項 義務教育費下渡金

經 常 部 計

臨 時 部

第一款 繰越金

第一項 前年度繰越金

第二款 國庫補助金

第三項 教育費補助金

第四項 衛生費補助金

第五項 勸業費補助金

第六項 社會事業費補助金

五、一八

五、一八

三九一、一八三

六、三〇〇

一一、九八八

二七〇、四〇九

一五〇、五九五

一五〇、五九五

九、八五五

三〇〇

九、五五五

一六〇、四五〇

一六〇、四五〇

五、一八

五、一八

三九一、一八三

六、三〇〇

一一、九八八

二七〇、四〇九

第七項 時局事務費補助金	五、四五六	第九款 衛生及病院費	一三、九八八
第八項 自治振興費補助金	二、九八五	第二款 衛生諸費	一三、九八八
第十項 防空費補助金	六〇、〇〇〇	經常部計	四三、一四八
第三款 寄附金	一〇、〇〇〇	臨時部	
第四項 教育費寄附金	一〇、〇〇〇		
第五款 國庫補助金	三一、七四六	第二款 教育費	一〇、〇〇〇
第一項 縣債元利補助金	三一、七四六	第三款 高等女學校費	一〇、〇〇〇
臨時部計	四三三、四四七	第一款 勸業費	二、七六〇
歳入合計	五九三、八九七	第四款 補助費	三、五四七
經常部		第七項 社會事業補助費	三、五四七
		第八款 農地造成改良事業費	一五、五五二
		第二項 農用公共施設新設改良事業費	一五、五五二
第三款 縣職員費	一、〇〇〇	第十四款 戰時對策費	三八一、三二三
第二項 廳費	一、〇〇〇	第一款 縣職員費	二、六九六
第四款 警察費	三〇〇	第二項 教育費	二五、八六八
第一項 俸給及諸給	三〇〇	第三項 勸業費	二五三、二一九
第八款 國民學校職員費	二八、八六〇	第四項 防空費	六〇、〇〇〇
第一項 國民學校職員費	二八、八六〇		

第六項 時局國民運動費	七、五一〇	丸太ニシテ長二十六尺五寸以上ノモノヲ謂フ
第八項 軍事援護費	三二、〇三〇	三 長丸太ハ知事ノ承認ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ生産スルコトヲ得ズ 但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
第十六款 縣債費	一三七、〇四九	(一) 國有又ハ縣有ニ屬スル用材ノ生産ニ係ル場合
第二項 利子	一三七、〇四九	(二) 日本木材株式會社ノ生産ニ係ル場合
第十七款 雜支出	五一八	(三) 森林所有者ガ自家用ニ供スル爲メ生産スル場合
第二項 過年度返納金	五一八	(四) 知事ノ指定シタル場合
臨時部計	五五〇、七四九	四 前號ノ承認ヲ受ケントスル者ハ伐採着手二十日前ニ様式第一號ニ依ル申請書ヲ知事ニ提出スベシ
歳出合計	五九三、八九七	五 本要綱ニ依リ承認ヲ受ケル生産シタル長丸太ハ其ノ用途以外ノ用途ニ販賣又ハ販賣ノ委託ヲ爲スコトヲ得ズ 但シ特別ノ事情ニ依リ知事ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
<p>◇鳥取縣告示第三百六十五號</p> <p>長丸太生産臨時措置要綱左ノ通定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス</p> <p>昭和十九年七月四日</p> <p>鳥取縣知事 武 島 一 義</p> <p>長丸太生産臨時措置要綱</p> <p>一 本縣ニ於ケル長丸太ノ生産ハ本要綱ノ定ムルトコロニ依ル</p> <p>二 本要綱ニ於テ長丸太ト稱スルハ用材規格規程ニ依ル大</p>		

村ノ政府ニ賣渡スベキ責任數量賣渡シ完了迄ハ買受クルコトヲ得ズ

二 業務上馬鈴薯ノ使用消費ヲ爲ス者(販賣ヲ爲ス者ヲ含ム)ハ當分ノ間馬鈴薯生産者ヨリ之ヲ買受クルコトヲ得ズ

三 賣買其他ノ名儀ノ何クルヲ問ハズ當分ノ間自己ノ居住地區市町村ヨリ他地域ノ市町村ニ馬鈴薯ヲ搬出スルコトヲ得ズ

四 右各項ノ制限ノ解除期日ハ別ニ之ヲ告示ス

告 諭

◇鳥取縣告諭第一號

敵機襲ニ帝都ヲ襲ヒ、今再ビ北九州ニ來リ、今後漸ク瀕繁ナラントシ、金甌無缺ノ吾ガ皇土モ遂ニ醜虜ノ侵寇ヲ受ケ修羅ノ戰場ト化セントス。

秋偶々歐洲第二戰線開始ト相呼應シ驕虜ノ來寇ハ皇土防衛ノ最要衝、吾ガ表玄關タル内南洋「サイパン」諸島ニ迫リ

、物量ヲ恃ミテ上陸ヲ開始セリ。死闘日夜所在ノ同胞ハ老幼婦女子ニ至ル迄干戈ヲトルニ至レリ。

今ヤ戰線モ銃後モナク眞ニ皇國存亡ノ期一億玉碎ノ覺悟ヲ定メザルベカラズ。

我が五十萬縣民ハ、更メテ宣戰ノ大詔ニ仰セラレタル大御心ノマニマニ、愈々戰意ヲ昂揚シ皇土防衛ニ徹シ戰力ノ増強ニ邁進シ進ミテ獸夷米國ノ野望ヲ破碎シ大東亞戰爭終局ノ完勝ヲ期セザルベカラズ。

宜シク五十萬一心、熱鐵ノ一丸トナリテ只管聖慮ニ副ハンコトヲ期スベシ

右告諭ス

昭和十九年七月一日

鳥取縣知事 武 島 一 義

昭和十九年七月四日印刷
昭和十九年七月四日發行

鳥取縣公報

(昭和四年四月十五日)
第三種郵便物認可

發行所 鳥取縣鳥取市東町
印刷所 鳥取縣鳥取市東町
印刷所 鳥取縣鳥取市東町